



▲歩行者・自転車・自動車交错して危険な交差点

## フタバ前交差点に信号機を

答弁＝障害を除き設置を進めたい



自治クラブ

毛利 豊

町道本荘古田線と町道二子古田線が交差するフタバ前交差点は車の通行量が多く、その上、道がカーブして見通しが悪く危険な交差点である。この道路は中学・高校生の通学路としても利用されており、朝夕の通勤ラッシュ時には、歩行者・自転車・自動車が交错してしばしば危険な場面に遭遇している。

地域住民から信号機設置の要望書が提出され、平成13年度には設置が決定されたが、その後に変更され、未だに設置されていない。今後の取組み、対応は、

- ①信号機の必要性をどのように考えているのか。
- ②なにが障害になっているのか。また、その対応は、
- ③設置の時期の目安は、

答弁＝木村理事

①この交差点は危険であり、

### 新通学路の安全対策を

通学途上での殺人事件や交通事故が多発して、学校に通う子ども達を取り巻く環境が著しく劣悪化している中で、北小廃校が決定的となり、北小の児童は来年4月から3つの小学校へ転校を余儀なくされた。

新通学路は、距離も長くなり、交通量の多い道路の

答弁＝松田教育長  
学校と協議し万全を

- ①道路の横断や人通りの少ない道など、危険箇所は多いと認識している。これらの地点に交通指導員を配置して対処する予定です。
- ②工事中の大中二見線を通るルートを予定している。
- ③この地区の「子ども101番の家」の再設定をして、見守りをお願いします。
- ④危険箇所には設置予定。



▲長期間不在の助役室（正常な組織はいつに）

## 助役不在の原因は

答弁＝不在は一時的なものである



住民クラブ

小西 茂行

町長に就任以来5ヶ月間助役不在のままであり、町民の間で疑問の声がある。地方自治法では、助役を必ず置く事を定めている。町の条例・規則・規程では、入札参加者審査会の会長などいろいろな重要な役目を助役に課している。

町政運営に支障をきたすのではないのか。想像以上に町長や職員に負担があるのではないのか。

予算編成の重要な時期でもあり、また年末・年始の対外的にも多忙なときに、不在でも町政運営が出来るのであれば、不要ではないかの声もある。

- ①不在の原因及び地方自治法との整合性は。また、選任の時期はいつか。
- ②助役の役割と不在期間の対応は。
- ③「助役は不要か」という疑問への答えは。

答弁＝清水町長

①職責にふさわしい適任者を選考中であり、地方自治法には整合していると認識している。臨時議会、3月定例議会で上程したい。

②職務は地方自治法第167条に定められているところであり、事務分掌規則に則って、理事が職務の代行をしている。

③町長の補佐・代理であるとともに、職員の担当する

### 政策決定のプロセスは

所信表明で、数々の課題をあげられているが、どう打ち出そうとしているのか。重要な案件の協議はどうか。庁議は開催しているのか。

①予算編成の考え方は、

\*1 経常収支比率の90%は達

成できるのか。現行の公債費比率も維持していくのか。(17年度決算13・4%)

②総合計画の見直しは。

答弁＝清水町長  
対話の中で方向性を

時代にあつた事業展開を図り、住民との対話で方向性を見出したい。意思決定や重要事項の審議などについては、庁議で協議・調整を行っている。

①一般財源総額が減少する傾向であり、歳出面でも既存施設の改修や継続的に実施する大型事業が控えており、事業の優先度を考え推進する。経常収支比率・公債費比率も目標達成に向けて取り組んでいく。

②実施計画も財政状況を考慮し、適時修正を加えており、基本計画も適時改定を行うなど柔軟な対応を図る。

\*1 (経常収支比率) 財政構造の弾力性(ゆとり)を判断する指標で、この比率が高まると自由に使えるお金が少なくなる。  
\*2 (公債費比率) 町の収入に占める借金の返済額の割合で、この比率が高まると財政が硬直化する。